

### アジア国際子ども映画祭が開催!



▲賞を受け、喜びの子どもたち

今回は「いじめ」をテーマとして16カ国・地域から176作品の応募があり、本選大会には、国内ブロックから選ばれた20作品、少年矯正施設の5作品、海外から44作品の計69作品がノミネートされました。

実写やアニメを用いて、いじめの本質や問題を提起するインパクトの強い作品や、支えてくれる家族や周りの人が必ずいることを水晶玉で比喩的に表現した作品。いじめなかった人、黙っていた人も、見て見ぬふりをせず勇気をもって行動することの大切さを訴えた作品。いじめに立ち向かい、いじめと戦う強さを身につけていく過程を描き、自分らしい生き方をするようエールを送る作品など、子どもの目線と感性で撮影された作品が上映されました。

第7回を迎えたアジア国際子ども映画祭が11月30日、南あわじ市文化体育館で開催されました。午前には関西・四国ブロック大会、午後には国内と海外からの優秀作品も含めた本選大会が行われました。「子どもの心の中に内視鏡を入れよう」と俳優で歌手の杉良太郎さんが提唱しスタートしたこの映画祭は、子どもたちがホームビデオカメラを使って、大人が干渉せず自由にテーマに沿って撮った3分間の映像作品を募集して開催しています。



▲最優秀賞の作品 ▲映画祭には法務大臣や豪華なゲストが登場しました。

いやる気持ちを表現している分、かきやすい作品として評価されました。また市内での入賞は、奨励賞に劇団Kids (複列小) の作品「かげ口もいじめ」が選ばれました。

「本選大会結果」上位4賞のみ紹介  
◆杉良太郎特別賞  
◆関東医療少年院 (東京)  
「きみといっしょ」  
◆法務大臣賞 ビエンチャン  
高校・ニラダー高校 (ラオス)  
「ストップ・アンド・スタート」  
◆文部科学大臣賞  
北見商業高校 (北海道)  
「世界が、かわる…」  
◆外務大臣賞  
三島小学校 (茨木市)  
「私はみんなから」  
◆関西・四国ブロック大会結果  
◆大会会長賞  
三島小学校 (茨木市)  
◆兵庫県知事賞  
劇団Kids (複列小)  
◆南あわじ市長賞  
天野更咲 (複列小)  
◆鳴門市市長賞  
鮎原小学校 (洲本市)  
◆東かがわ市長賞  
三中1年2組郷土部 (三原中)  
うずしお観光大使賞  
淡路三原第1回カブスカウト隊  
実行委員長賞  
富士山侑香 森崎希海 (広田小)  
審査員特別賞  
倭文小学校  
◆奨励賞  
内田晃雅 (松帆小)、引田小学校  
学校放課後子ども教室 (東かがわ市)、興東小学校 (奈良市)



▲エンディングで舞台上に集まった子どもたちとゲスト

◆今回のテーマは「夢」をテーマに作品を募集します。次回も南あわじ市で11月29日に開催予定です。多くの作品をお待ちしています。

### 映画祭参加訪問団、市内各地を訪問

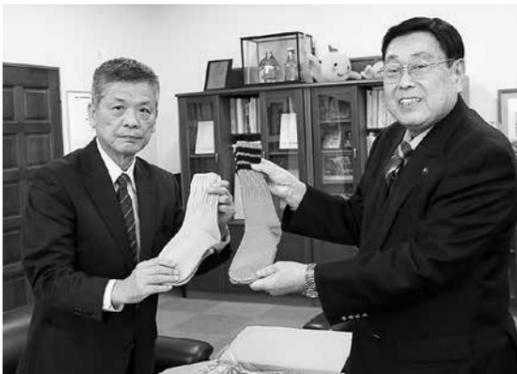


▲モンゴルからの訪日団によるパフォーマンス

アジア国際子ども映画祭には15カ国・地域から約150人の子どもたちが11月26日、12月1日の日程で淡路島を訪問しました。子どもたちは淡路ファームパークイングランドの丘や淡路人形座、うず潮観潮船など歴史文化・自然体験施設を見学したり、島内の高校を訪問して授業の見学や生徒との交流を行いました。

また国内ブロックノミネーターとも交流を図ってもらおうと11月29日、南淡公民館で交流会が開催されました。各訪日団は民俗衣装などを身にまとい、それぞれが練習を重ねたパフォーマンスを披露。大きな拍手が沸き起こりました。最終日には成果報告会が行われ、市の文化などを学んだ訪日団に映画祭の親善大使認定証が贈られました。

### 介護福祉施設入所者へ靴下を寄贈



▲靴下を手に由井淳裕社長(左)と中田勝久市長

株式会社 ユイ(福良)が創業100周年を記念して、市内の介護福祉施設の入所者に自社製品の靴下2000足を寄贈しました。由井淳裕社長が12月11日、市役所中央庁舎を訪れ中田市長に目録を手渡し、市内15の介護福祉施設の入所者788人にプレゼントしました。

靴下製造会社の同社は大正2年の創業で、由井社長は3代目。会社によくお年寄りが靴下を買いに来られることから、市内の介護福

### 株式会社 ユイ

社施設のお年寄りにも靴下をはいってもらって暖かくすごしてもらいたいと寄贈。靴下はアクリルとウール素材の防寒靴下で、はきやすく脱げにくい編み方をしています。中田市長は「寒い冬の時期に入所されているお年寄りに素晴らしいプレゼントとして喜んでいただける」と感謝の言葉を伝えました。由井社長は「創業100年を迎える節目に社会貢献につながればと思います。みなさんに暖かくすごしていただきたい」と話しました。

今後とも各種研究会やシンポジウムを企画、開催し、地域の皆様のお役に立てる情報発信を積極的に行ってまいります。また、日常の農業の営みの中で病害虫などの診断等が必要な時はいつでもお気軽にご連絡いただければ幸いです。☎ 42・4700 42・4701

### 吉備国際大学からのお知らせ

11月22日、吉備国際大学南あわじ志知キャンパス大講義室において、第1回吉備国際大学植物保護シンポジウム「レタスビッグベイン病の防除に向けて」が開催されました。8名の講演者を迎え、約80名の方にご参加頂きました。



▲レタスビッグベイン病の発生状況と問題点についての講演

淡路島内、特に南あわじ市を中心とした病虫害対策において、「地域の課題」を軽減するために、地元の関係機関と連携して、吉備国際大学地域創成農学部が持っている知的財産を還元することを目的としたシンポジウムでした。研究者や行政の農業担当者



▲熱心に講演を聴く参加者ら